今年度の地域コーディネーター研修会(地域学校協議会)と吉和学園の冠遺跡発掘の様子をお知らせいたします。

令和7年度廿日市市地域コーディネーター研修会(地域学校協働会議)

8月28日(木)に廿日市市地域コーディネーター研修会(地域学校協働会議)を開催いたしました。今回は、広島県立生涯学習センターが運営している大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」の紹介と協働活動の今までとこれからについて協議をしました。

「ワクワク学び隊」の紹介

「ワクワク学び隊」について、県立生涯学習センターの齋藤裕磨さんから趣旨と活動の様子を紹介していただきました。「ワクワク学び隊」は、県内の市町が実施している地域学校協働活動を充実させるとともに、大学生の地域貢献を促進するために派遣する事業です。この事業は、登録された大学生が、工作や実験・レクレーション・スポーツ等のプログラムを考え、子ども達と一緒に活動します。



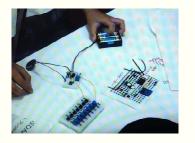
現在廿日市市で活動可能な大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」

チーム名	活動内容	活動可能な時間	所属大学名
青年ボランティアグルー	工作、スポーツ、レ	要請に応じて、都合の合う日に活	安田女子大学
プグループ「カッターズ」	クリエーション	動します。	尾道市立大学
		5月10日~3月31日頃。土曜	
HIT-ALPs 電機クラブ	実験、工作	日、日曜日、祝日。長期休業につい	広島工業大学
		ても相談に応じます。	
JCDキャロット(出張理	実験、工作	4月10日~1月20日頃	広阜工業士
科実験)	夫淑、上17F 	4 月 10 日~ 1 月 20 日頃 	広島工業大学

「ワクワク学び隊」の活動

午前中に佐方市民センターと平良市民センターの放課後子ども教室に「ワクワク学び隊」が来て活動しました。子ども達もいつもとは違うお兄さん達と活動し、とても楽しそうでした。平良市民センターでは、電子音源の作製をしました。細かい作業でしたが、子ども達は集中して取り組み、大学生の良さを感じながら交流することができました。できあがった音源装置は、子ども達が嬉しそうに持ち帰っていました。家庭でもこの活動の話題で盛り上がったと思います。







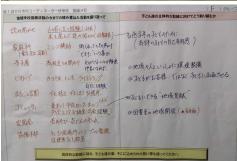
協働活動の意見交流

参加者の今までの協働活動を振り返り、これから子ども 達の主体的な活動に向けてどう取り組むかを交流をしま した。

これまでの活動を振り返って、学校ではいろいろな活動に沢山の方に入っていただいて本当に助かっている。各地域のいろいろな団体にも協力していただいて、組織的にご支援をいただいている。ボランティアとしては、子ども達と地域で出会ったときも声をかけてくれるので嬉しい等の意見が出ました。

これからの協働活動については、子ども達が主体的に活動していく工夫が大切だという意見が出ました。子ども達が主体的に活動するためには、大人が主体的に活動しその姿を見せることや地域の特色を活かした地域ならではの体験活動ができる場を工夫すること、地域行事の司会や自分達ができること・学んだことを発表することなど、地域





グループのまとめ

行事に子どもを積極的に参画させること等が大切だという意見が出されました。

冠遺跡の発掘調査!4万2300年前の石器発見!?

ニュースや新聞で話題になっている冠遺跡(吉和冠高原)に、吉和学園の5~9年生が発掘に出かけました。奈良文化財研究所と世日市市教育委員会が9月12日~9月26日に発掘調査を行いました。前回の発掘調査で冠遺跡から、4万2300年前と考えられる石器が発見されました。これは日本最古の石器群と考えられ、この遺跡が日本の歴史を変えるかもしれないこと等を学んだ後に実際に発掘体験を行いました。子ども達は、4万23



子ども達が発掘した石器

00年前とはいきませんでしたが、 $2\sim3$ 万年前の石器をいくつも発見しました。吉和は太古から人々が生活していた証拠に触れ、驚きと命のつながりに感動していました。

最後に、子ども達は学年ごとに調査員の西田さんから石器の判定や石器の作り方等の説明を熱心 に聞き、昔の人の努力に感心し、石器を学校に持ち帰りました。



石器の発掘の様子



石器の説明を受けている様子

廿日市市教育委員会生涯学習課

〒738-8501 廿日市市下平良一丁目 11 番 1 号 TEL(0829)30-9203 FAX(0829)32-5163



市ホームページ